

小倉薬剤師会 7月学術研修会のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう
お願い申し上げます。

謹白

■事前申し込みの方のみご参加可能ですので、参加ご希望の際は、以下URLより7月5日(金)厳守にてお申し込みください。(お申し込みは会員に限ります)

■視聴用URLの発行について

開催日前に、以下申込みURLよりご登録いただいたメールアドレスへ、視聴用URLをお知らせします。

※開催日前に視聴用URLが届かない場合は事務局まで(093-941-3518)お問い合わせください。

■単位申請について(PECSに変更)

①ご参加いただいた会員様の単位取得は、以下の申込みURLよりご入力いただいた「薬剤師番号」にて申請いたしますのでご入力の際は誤りのないようにご注意ください。※申請後の修正はできかねますのでご了承ください。

②単位取得については入退室が記録されたZoomからの「受講ログ」を研修センターに提出となっております。講演開始時19時前にご入室されたログ記録、および20:30までご聴講いただいたログ記録にて認められます。※ログ記録が1.5時間に満たない場合は単位取得の対象となりません。

記

【日時】 2024年 7月16日(火) 18:45~20:30

【開催方法】 WEB配信(WEB会議ツールを用いたオンライン研修) 研修会

【情報提供】 18:45~19:00

『ダサチニブ錠 20mg/50mg 「サイイ」』 沢井製薬株式会社

【PS】 1. ヒューマニズム(倫理): ①-1~3

2. 医薬品の適正使用(安全性、経済性): ②-9~12、③-31

座長 学術委員 山田 真裕

【特別講演】 19:00 ~ 20:30

『白血病の病態と治療』

演者 社会医療法人北九州病院 北九州総合病院 血液・腫瘍内科 副部長
北村 典章 先生

<講演要旨>

1940年代、化学兵器のナイトロジェンマスタードがホジキン病に対して最初の抗悪性腫瘍薬として使用された。日本でも、1948年に白血病に対して使用され、寛解した症例が報告されている。その後、がんの分子病態の理解により分子標的薬が開発され、慢性骨髄性白血病に対するイマチニブ、B細胞リンパ腫に対するリツキシマブが2001年に上市され、劇的な予後改善に寄与した。急性骨髄性白血病治療も長らく殺細胞薬のみであったが、FLT3阻害薬、BCL2阻害薬が導入されている。がん薬物療法の進歩の中心は白血病であり、その病態と治療についてお話したい。

共催: 小倉薬剤師会
沢井製薬株式会社

7月16日（火）学術研修会申込書

↓以下の研修会申込みURLよりお申込みください↓

申込み締切：7月5日（金）迄

<https://forms.gle/jnWiZ63hmraj7ksk8>



■PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録はお済みですか？■

PECS（薬剤師研修・認定システム）への薬剤師登録が必須となりますので、単位付与を希望される場合は、必ずPECSへの登録完了後に、参加申し込みしてください。

日本薬剤師研修センターHP <https://bitly/3vb8RU9>（薬剤師用入口より）

登録完了していない場合や登録内容に誤りがあった場合は、単位が正しく発行されません。免許番号に「中」や「外」が含まれている場合は、その文字も含めてご入力ください。登録内容に誤りがあった場合の単位付与に関して、本会は責任を負いかねますのでご了承ください。

※当講演会で取得したご施設名・ご芳名は、共催製薬会社による医薬品および医学・薬学に関する情報提供、ならびに参加者に関するご確認のために利用させていただくことがございます。また、当該情報は、共催製薬会社から小倉薬剤師会に開示させていただきます。